

# あおぎり

平成24年11月27日

## 森上祭りがありました



空き缶つみをする子どもたち

11月9日(金)3・4校時に、児童会主催の森上祭りが行われました。

朝の時間に、児童集会を行い、焼き芋の点火式を行いました。各学年で育てたお芋が焼けるのを楽しみにしながら、1・2時間目は普通の授業を行いました。

3・4時間目は4年生以上の学級で準備した「チャレラン」を行いました。

姉妹学級のお友達と各会場に用意された種目(さいころ1だし、けんけん30m走、ぞうきんがけ20m、洗面器お手玉投げ、空

き缶つみ、新聞紙面の「の」の字さがし、豆つまみ皿うつし、紙ちぎりのぼし、かた足バランス、画びょう回し)に挑戦し、それぞれの種目を楽しむことができました。

4時間目の中ごろには、お芋が焼き上がり、各クラスに配られ、秋の味覚を十分に味わうことができました。楽しく充実した時間を過ごすことができました。

## クラブ発表会

11月15日(木)の6校時にクラブ発表会が行われました。

5月から11月まで、計9回の活動がありました。

希望するクラブ(人数の関係で希望するクラブに入れなかった人もいます)に入り、学年の違う人たちと活動してきました。クラブ発表会では、活動してきた様子や感想が発表されました。また、クラブ活動で作った作品を廊下に展示するクラブもありました。

教科の授業とは違った楽しさを味わうことができました。

今年のクラブ活動で得たことを、今後の学習や生活に生かしてください。

6年生にとっては、最後のクラブ活動でしたが、ここで学んだことを中学校の部活動につなげていってください。



体育館で行われた発表会



廊下に展示された作品

3年生の皆さんは、4年からクラブが始まります。見学や発表で、来年はどのクラブに入るかを決めているところだと思いますが、今の5年生、4年生の皆さんと一緒に楽しく活動してほしいと思います。

## 11月21日校長講話の内容（概略）

今日は「なかよし」についてのお話をします。

森上小学校の皆さんは、相手の気持ちを考えることができる心の優しい人たちです。

私たちの心には、「やさしい心」のほかに、「いじわるな心」があるように思います。

優しい心が大きいとお友達にやさしくできます。反対に、いじわるな心が大きいとお友達にいじわるをしてしまいます。

優しい心を大きくしていくにはどうすればいいのでしょうか。

人とかかわる

自然とかかわる

自分のことを振り返る

自分に自信を持つ

この他にも優しい心を大きくすることは、たくさんあります。各自で考えて実行してほしいと思います。

お友達が嫌なことを言われたり、嫌なことをされたりしているのを見た時に、「そんなことを言っただけでいいじゃないか」「そんなことをやってはいけないんだよ」と言える皆さんだと思います。

優しい心の持ち主は、強い人です。人を大事にする人は自分を大事にする人です。

赤ちゃんだった皆さんは、大切な存在として、お父さんやお母さん、お家の人の愛情をたっぷり受けて大事に育てられ、今の皆さんがあります。人はだれでも幸せに生きようと思っています。その気持ちをみんなで尊重し合っていくことです。

いじめは、人として絶対にやってはいけない行為です。みんなが人の気持ちを考えた優しい心の持ち主になることです。みんなで更に明るく楽しい学校にしていきたいと思います。



校庭の美しい紅葉

### 4・5・6年の算数学習充実しています

県の「信州こまやか教育プラン」事業により、習熟度に差が生じやすい教科で、30人以下の学習集団が編成できるよう教員が1名配置されています。本校では、塚田妙子先生が4・5・6年の算数の指導にあたっています。

少人数による学習のため、子どもたちからは、「分かりやすい」「発言しやすい」「できるようになって競争心が出てきた」「分かるようになって算数が楽しくなった」といった声が聞かれます。やる気とともに算数の力も伸びてきています。

算数好きの子どもたちを育てる上で、30人以下の学習集団で算数学習ができていくことはとてもありがたいことです。